

「過越の食事(最後の晩餐)」

(受難週：木曜日)

マタイの福音書 26:26～33

ヨハネの福音書 13:4～15

過越の食事は、出エジプト記に起因している。イスラエルの民がエジプトを脱出する前の晩エジプト中の初子が死ぬという恐ろしい神の裁きが行われた。しかし神様からの指示に従い、家の鴨居に小羊の血を塗ったイスラエルの民の初子は守られた。災いがその家の前を通り過ぎたからである。災いを免れた理由は、小羊の血の約束を守ったからである。

そして今や、神の独り子である主イエスが「神の小羊」として十字架で殺され血を流された。それはこの「神の小羊」の死が自分の罪のためだと信じ、従う全ての人に与えられた「神の小羊の血の約束」である。御子の血を受ける者が永遠の滅びを免れるためである。

弟子たちとの最後の別れの食事の席で、主イエスは十字架の意味と、この後主イエスをキリストと信じて生きる者に大切な最後のメッセージを語られたのである。

[聖書の学び]

I、過越の食事の前

(ヨハネ 13：4～15)

1、弟子たちと最後の食事を始めようとされた時、主イエスは弟子たちの足を洗い始められました。

①弟子のペテロは師である主イエスが、自分の足を洗われるのを拒みましたが、その時、主イエス何と言われましたか？ (ヨハネ 13：8)

②慌てたペテロが足も、手も頭もと言いましたが、主イエスは「水浴した者」は全身がきよいと言われました。これは何を意味しておられるのでしょうか？

(ヨハネ 13：10)

2、主イエスは足以外はきよいと言われました。足とは何の意味でしょうか？

(ヨハネ 13：10)

3、この時、裏切るイスカリオテのユダの足をも洗われました。主イエスの彼に対する思いを想像してみましよう。

Ⅱ、最初の聖餐式 (マタイ 26:26～33)

1、イスカリオテのユダが去った後、主イエスはパンとぶどう酒をもって聖餐を制定されました。

①パンを取り、裂いて弟子たちに渡し、どのように言われましたか？(マタイ 26:26)

②杯を取り、祈りの後、弟子たちに渡され、どのように言われましたか？
(マタイ 26:27)

2、エレミヤ 31:31 を読みましょう。この預言の成就として、新しい契約を主イエスは制定されました。

①マタイ 26 : 28 の「契約の血」は何のために流されたのでしょうか？

②エレミヤ 31:33～34 ではこの契約をどのようなものだと言っていますか？

Ⅲ、助け主、ご聖霊について (ヨハネ 14:17～20、26)

1、私たちの心に新しい契約である十字架の救いを刻みつけて下さるため、ご聖霊は来て下さいました。どのような方でしょうか。

①ご聖霊——私たちとともにおられ、私たちのうちにおられる。(ヨハネ 14:17～20、26)

②真理の御霊——キリストの愛、父なる神の愛が分かる。(ヨハネ 14:23)

③助け主であるご聖霊——全てのことを教えて下さる。(ヨハネ 14:26)

* **ディスカッション** (心を開いて互いに話し合ってみましょう)

Q. 今日の学びについて、思うこと、教えられたことを、分かち合いましょう。